記者発表資料

平成31年4月10日

山形県内大規模氾濫時減災対策実行委員会

荒ぶる水災害への立ち向かい方

～昭和44年８月洪水から50年、「最上川水防災セミナー」を開催します～

山形県内に甚大な被害をもたらした「昭和44年8月洪水」から50年を迎え、災害への備えを考えるきっかけとしていただくために、全国で先進的な防災の取り組みをされている兵庫県豊岡市中貝市長と東京大学大学院情報学環片田特任教授のお二人を講師にお招きし、最上川水防災セミナーを開催します。

１．開催日時　**令和元年５月１３日（月）15:00～17:00　開場14:30**

２．開催場所　**山形市　ホテルメトロポリタン山形　４階　霞城**

３．内容　**別添資料参照**

４．対象　**一般住民、自主防災組織、行政関係者**

５．定員　**５００名（申し込みによる先着順）**

６．申し込み方法　**チラシ裏面の申し込み書に必要事項を記入し、事務局（FAX023-688-8438）にFAXで連絡**
山形河川国道事務所ホームページからも申し込みできます

７．料金　**無料**

８．取材等　**マスコミ関係者は会場での受付後、撮影を可能とします**
一般入場者の撮影、録音はご遠慮下さい

〈発表記者会〉　山形県政記者クラブ

問い合わせ先

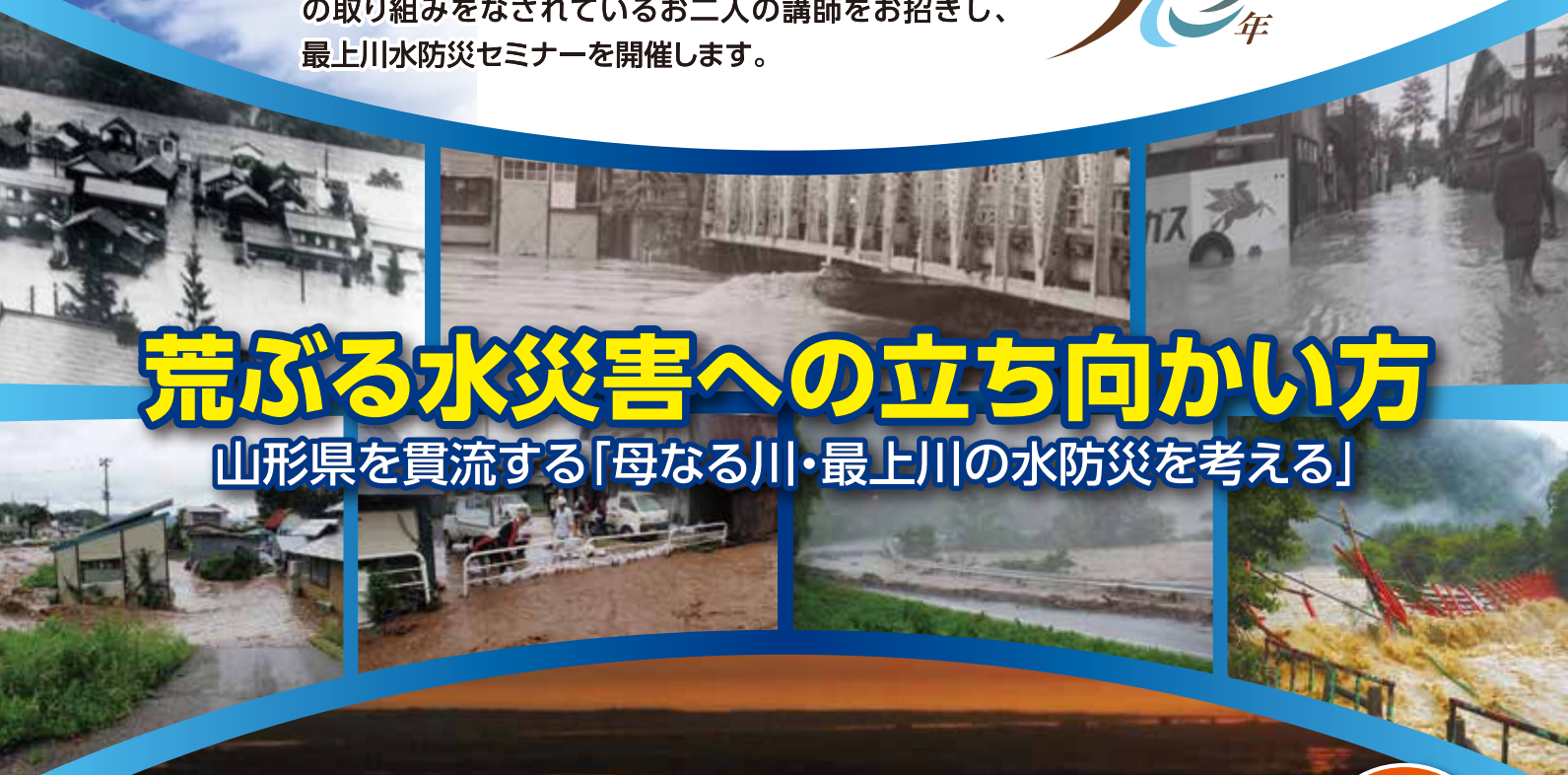
山形県内大規模氾濫時減災対策実行委員会事務局
山形市成沢西四丁目3番55号　TEL023-688-8421（代表）

国土交通省
山形河川国道事務所　副所長　髙橋（たかはし）　秀（しげる）（内線761-204）
調査第一課長　栗田（くりた）　政芳（まさよし）（内線761-351）

最上川水防災セミナー

山形県内に甚大な被害をもたらした「昭和44年8月洪水」から今年が50年目にあたります。全国的に先進的な防災の取り組みをなされているお二人の講師をお招きし、最上川水防災セミナーを開催します。

昭和44年 8月洪水 50年



荒ぶる水災害への立ち向かい方

山形県を貫流する「母なる川・最上川の水防災を考える」

日時 2019年 5月13日(月)
開場／14:30
開演／15:00～17:00

入場無料

会場 山形市 ホテル メトロポリタン山形 4階 霞城 定員500名(先着順)

講師

兵庫県豊岡市長
中貝 宗治 氏

災害時にトップがなすべき事
～すべては対話から～



東京大学大学院情報学環 特任教授
群馬大学名誉教授
片田 敏孝 氏

荒ぶる災害への立ち向かい方



高めよう！防災意識 5月は水防月間です

参加ご希望の方は、チラシ裏面の「参加申込書」にご記入のうえFAXでお申込みください。 ホームページからもお申込みができます。

主催：山形県内大規模氾濫時減災対策実行委員会 お問合せは‥ 事務局：国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第一課 TEL023-688-8933

構成機関：国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所／新庄河川事務所／酒田河川国道事務所／最上川ダム統合管理事務所／月山ダム管理所／気象庁 山形地方気象台／山形県／山形市／米沢市／鶴岡市／酒田市／新庄市／寒河江市／上山市／村山市／長井市／天童市／東根市／尾花沢市／南陽市／山辺町／中山町／河北町／西川町／朝日町／大江町／大石田町／金山町／最上町／舟形町／真室川町／大蔵村／鮭川村／戸沢村／高畠町／川西町／小国町／白鷹町／飯豊町／三川町／庄内町／遊佐町／(一社)東北地域づくり協会

最上川水防災セミナー

昭和44年 8月洪水 50年

山形県内に甚大な被害をもたらした「昭和44年8月洪水」から今年が50年目にあたります。また、昨年8月には庄内、最上地方等で発生した戦後最大規模の豪雨による災害も記憶に新しいところです。大雨による災害は近年、激甚化と共に多発化してきており、災害から地域を守る取り組みは、益々その重要性が高まっています。このような状況を踏まえ、災害への備えを考えるきっかけとしてもらうために、全国的に先進的な防災の取り組みをなされているお二人を講師にお招きし、最上川水防災セミナーを開催します。

日時 2019年 **5月13日(月)** 開場／14:30 開演／15:00～17:00

会場 山形市 **ホテル メトロポリタン山形** 4階 霞城

講師 兵庫県豊岡市長 **中貝 宗治 氏**



【プロフィール】
京都大学法学部卒
1978年　兵庫県庁入庁、1991年　兵庫県議会議員
2001年　豊岡市長就任、2005年　合併後の新豊岡市長就任
現在4期目

全国の大きな水害を経験した市町村区長が集まり、自らの水害体験を通じて得た経験や教訓などを語りあい、全国に発信し、減災に役立てることを目的とした【水害サミット】の発起人。「小さな世界都市～Local & Global City～」の実現をめざし、コウノトリの野生復帰をはじめ、環境を良くする行動によって経済が活性化する“環境と経済の共鳴”の具体例を積み重ねるなど独自の施策を展開している。

東京大学大学院情報学環 特任教授
群馬大学名誉教授 **片田 敏孝 氏**



【プロフィール】
豊橋技術科学大学大学院博士課程修了
2005年 群馬大学工学部建設工学科教授
2010年 群馬大学広域首都圏防災研究センター　センター長
2017年 東京大学大学院情報学環 特任教授　群馬大学 名誉教授

災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開。平成24年には防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞、また平成26年には皇居に招かれ天皇皇后両陛下にご進講。内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わる。

主催：山形県内大規模氾濫時減災対策実行委員会
事務局：国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所 調査第一課
お問合せは‥‥ TEL: **023-688-8933**

入場無料



参加ご希望の方は下記の申込書に必要事項をご記入のうえFAXでご連絡ください。

定員500名（先着順）

FAX: **023-688-8438**

ホームページからもお申込みができます。

ホームページ http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/

山形河川国道 **検索**

参加申込書

代表者連絡先	(ふりがな) ご氏名 (必須)		年齢 (任意)	歳
	ご住所 (必須)	〒		
	会社・団体名 (任意)		電話番号 (必須)	

参加者名	(ふりがな) ご氏名		(ふりがな) ご氏名	
	(ふりがな) ご氏名		(ふりがな) ご氏名	

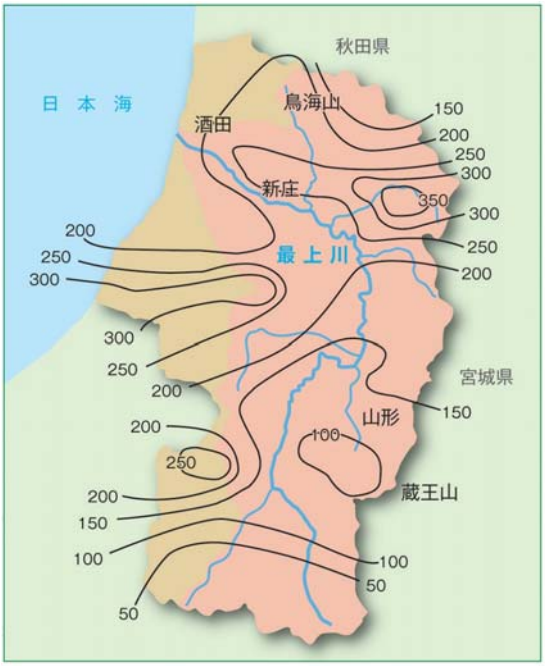
※提供された個人情報は、本企画の実施・運営に関わる業務の目的以外に使用しません。

「昭和44年8月洪水」の概要

概　況

昭和44年8月7日、発達した低気圧の影響で山形県全域は、猛烈な風雨に見舞われた。総雨量は、最上、庄内地方で 150～200mm、村山地方で100～200mmに達した。このため最上川では、7日夜より急激に水位が上昇し、**中流部から下流部では昭和42年8月の羽越水害以上の水位を記録**し、特に中流では鮭川、小国川等の水も加わり、各地で氾濫した。

被害は家屋の浸水、流出、田畑の流出埋没、交通途絶など32市町村にわたって甚大な　被害があった。人的被害として死者2人、負傷者8人の他、建物、公共施設を始め土木被害、教育、衛生等広範囲にわたった。鉄道、道路とも各地で被害を受け、内陸と庄内は一 時交通が途絶し、羽越水害に次ぐ豪雨災害となった。



S44.8月洪水等雨量線図

主な被害状況	人的被害	死者	2名
		負傷者	8名
	住家	全壊流失	13戸
		半壊	17戸
		床上浸水	1,074戸
		床下浸水	3,834戸
		一部破壊	25戸
	被害総額		84億8925万円



戸沢村古口地内の浸水状況（S44.8月洪水）



天童市蔵増地内の浸水状況（S44.8月洪水）